

つながるスイッチ!!

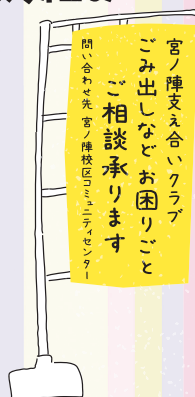
vol.31 支え合い推進会議 —その②0—

「宮ノ陣校区」の取り組み

久留米市社会福祉協議会

「つながるスイッチ!!」初登場!

「宮ノ陣支え合いクラブ」は
住民の困りごとに
寄り添っています



今回は「宮ノ陣校区」を
ご紹介します。

宮ノ陣校区まちづくり振興会
会長 吉村 良介さん

宮ノ陣校区社会福祉協議会
会長 陣内 博さん

宮ノ陣校区まちづくり振興会
事務局長 山口 高洋さん

「宮ノ陣支え合い クラブ」スタート

宮ノ陣校区は令和5年に「宮ノ陣支え合いクラブ」を立ち上げ活動をスタート。「可燃ゴミ出し支援」からまず始め、令和6年度より、「資源ゴミ出し支援」と「よろず相談（困りごと相談）」を追加し、「わたしたちができる小さなこと」を中心に取り組まれています。

「今、月に1、2回程度、ご依頼があつて
います。ゴミ出し支援だけではなく、
『クリーンセンターにゴミを持って行って
ほしい』『自宅の2階から1階に家具を
おろしたい』『窓ガラスが割れて困っている』
など、様々な困りごとの相談をいただいて
います。対応が難しい場合は業者さんを
紹介することもあります。なるべく
私たち宮ノ陣支え合いクラブで対応
しています」と陣内さん。「特に最近
は、
ゴミ出しの依頼よりも、困りごとの

相談が増えて来たように感じます。些細な
ことでも連絡をいただけるのは、頼り
にさせていただいているということなので
嬉しいですね」と吉村さん。

宮ノ陣支え合いクラブは、自治会長や民生
委員さんたちを中心に結成。手伝って
くれる人（担い手）をアンケートを取って
募集し、現在約100名が登録されてい
ます。「活動を始めたことで、校区の
皆さんから『良い取り組みだ』『相談
できてよかった』という嬉しい声をたく
さんいただいています。そして何より、宮
ノ陣校区が明るい雰囲気変わったよう
に感じます」と陣内さん。明るい雰囲気
に「役買っているのが、メンバーお揃いのベスト
とのぼり。」「もつと支え合いクラブをPR
しなくては!と、メンバー皆で話し合い、
今年、ベストとのぼりを作成しました。
必ずベストを着用して活動するので、
私たちが何をしているかみなさんに知って
もらえますし、校区の見守りの役割にも
なっていると思います」陣内さんは嬉し
そうにベストを見せてくれました。「もつと
利用者、そして担い手も増やしたいです。
そのためには、もつと支え合いクラブを



活動の様子

PRしていかなくてはいけない」と熱い
想いの陣内さんでした。

「支え合う ワークショップ」開催

令和6年度末、校区で「支え合うワーク
ショップ」が開催されました。「支え合う
ワークショップ」とは、カードを使って、
宮ノ陣校区のいいところ、もつとこうし
た方がいいなど課題を見つけ、意見を出し
合うもので、約50名の住民が参加。当日
飛び入りでの参加者や、他の校区の参加
者も来られました。

★「支え合うワークショップ」 主なご意見

- ・こんな地域を目指したい!
- ・子どもと高齢者の交流会をしたい
- ・ゴミのポイ捨てが多いので、
ゴミがない町にしたい
- ・女性の活躍の場が欲しい
- ・買い物支援を充実させて欲しい
- ・子ども食堂の開催
- ・昔ながらのお祭り・行事の復活
- ・コミュニティバスの復活
- ・自治会の集会所を開放して
気軽に集まれる場を作って欲しい

様々な世代が参加し、ワークショップは
大盛り上がり。活発な意見交換が行われ
ました。「普段は、支え合い推進会議の
決まったメンバーで話し合いをしている
ので、どうしても偏ったり意見が出な
かつたりします。



支え合うワークショップの様子

ワークショップを開催したことで新しい意見をたくさん聞けて面白かったです。皆さんが校区に対してどう思っているかを聞いたことは勉強になりました。ワークショップで出た意見や声を参考に、校区のために取り組んでいきたいと思っています」と陣内さん。

これからについて

● 吉村さん

校区には人暮らしの高齢者も増えてきました。この地域でみなさんが安心して暮らせるよう、これからもお手伝いをしていきたいです。そのためにも、私たち支え合い推進会議のメンバーや民生委員さんたち支える側が、しっかりコミュニケーションをとって、連携していかなくてはいいかなと思っています。宮ノ陣校区は歴史あふれる魅力的

な校区です。校区の皆さんが宮ノ陣に住んでいてよかったと思ってもらいたい、そしてこれからも宮ノ陣を好きでいてくださるよう活動していきたいです。

● 陣内さん

宮ノ陣支え合いクラブの利用者、担い手を増やしていきたいという想いが一番です。また、宮ノ陣はスポーツが盛んな校区です。毎年開催されている「久留米オリンピック」では何度も優勝しています。「宮ノ陣笑群バイククラブ」というスポーツクラブでは、グラウンドゴルフや剣道、空手、野球、卓球など様々なスポーツをおこなっています。これからもスポーツを通して校区内の子どもから高齢者まで幅広い世代が交流してほしいと思っています。校区みんなで健康を目指します！宮ノ陣からオリンピック選手が出たら嬉しいですね。

● 山口さん

宮ノ陣支え合いクラブの問い合わせはまちづくり振興会の事務局になっているので、私が電話を受けることが多いのですが、「支え合いクラブの存在を知らなかった」「頼んで良かったので、知り合いにも教えたい」というような声をいただきます。まだ周知が足りないように感じていますので、もっとPRしていきたいです。校区の広報紙に定期的に活動を載せたり、のぼりをいるなところを立てて

取材を終えて

アピールしていきたいです。民生委員さんたちとも連携をとりながら、これからは困っている人を助けて、そして担い手を増やす取り組みも考えていきたいです。

今回は2回に渡っての取材となりました！3人が団結して校区のことを想い、活動をしてきたことがわかるような仲の良さで、取材もわきあいあいと進行。そして、宮ノ陣校区がこんなにスポーツ活動が活発だということを初めて知り、子どもから高齢者までが元気に過ごしていることが伝わりました。今年の久留米オリンピックでも優勝を目指すそうです。校区からオリンピック選手が出場するのが楽しみです。



陣内 博さん 吉村 良介さん 山口 高洋さん

野菜作りが趣味の吉村さん。「家庭菜園のレベルではない！」と皆さんがおっしゃるように、スイートコーンやにんにくなど育てている野菜は本格的。できた野菜はご近所さんやまわりの皆さんに配っているそうです。孫が10人いる陣内さん。陣内さんのスポーツ好きを引き継いで、お孫さんみんなスポーツをしているそう。応援に大忙しです。山口さんは2日に1回ジムに通い、月に1回献血に行っています。陸上の審判の資格もお持ちで、今でも久留米や大牟田の大会に審判として参加しています。行動力あふれる3人です。

- 令和5年度より、「宮ノ陣支え合いクラブ」スタート
- 対応内容を、ゴミ出し支援から、困りごと相談まで広げ、住民の些細な困りごとにも対応している
- 活動の際には、「宮ノ陣支え合いクラブ」のベストを着用し、安心安全な活動団体と知ってもらふことと、校区内の見守りをねらっている
- 「相談できてよかった」と好評！活動を始めたことで、校区の雰囲気明るくなった
- 「支え合うワークショップ」を開催。住民との様々な意見交換ができた

久留米市社会福祉協議会

〒830-0027 久留米市長門石1-1-34

TEL: 0942-34-3035

FAX: 0942-34-3090

メール: heartful@heartful-volunteer.net

H P: <https://www.heartful-volunteer.net>

久留米市社会福祉協議会 検索

webサイト

【note—つくる、つながる、とどける。】で

「つながるスイッチ!!」を検索してください!

#久留米市 #社協 #地域 #福祉 #地域福祉 #支え合い #クラブ #承ります

つながるスイッチ!!はHPでもwebマガジンでも掲載中

